

令和4年度 着手

令和7年度 第1回変更

県営^{はないけ}花池地区 緊急防災工事計画書

(防災ダム事業)

愛 知 県

目 次

第1章 目的	1	第4節 排水計画	12
第2章 地域及び地積	1	第5節 道路計画	12
第1節 地域	1	第6節 農用地造成計画	13
第2節 地積	1	第7節 洪水調整計画	13
第3章 現況	2	第8節 干拓計画	13
第1節 気象	2	第9節 農用地整備計画	13
1 一般気象	2	第10節 老朽ため池改修計画	13
2 特殊気象	3	1 洪水吐改修計画	13
第2節 土地状況	4	2 堤体補強計画	13
1 地形、土壌及び浸食の程度	4	3 緊急放流施設新設計画	13
2 土地分類	4	4 法面保護計画	13
3 土地利用の状況	5	第5章 主要工事計画	14
第3節 水利状況	6	第1節 用水施設	14
1 用水状況	6	第2節 排水施設	14
2 排水状況	8	第3節 道路及び索道	14
3 河川状況	8	第4節 農用地造成	14
第4節 道路概況	8	第5節 洪水調整施設	14
第5節 地域農業の概況	8	第6節 干拓施設	14
1 産業別就業人口	8	第7節 農用地整備施設	14
2 主要作物作付状況	9	第8節 老朽ため池改修施設	15
3 農業の動向	10	1 貯水池	15
第6節 地域環境の概況	11	2 堤体補強施設	15
第4章 一般計画	12	第6章 附帯工事計画	16
第1節 事業計画の要旨	12	第7章 工事の着手および完了の予定時期	16
1 要旨	12	第8章 環境との調和への配慮	17
2 事業別面積	12	第9章 換地計画の概要	17
第2節 営農計画及び土地利用計画	12		
第3節 用水計画	12		

第 10 章	事業費の総額および内訳	17
第 11 章	効用	18
第 12 章	関連する事業	19
第 13 章	現況・計画平面図	19

第 1 章 目 的

本ため池は、刈谷市の北部に位置する愛知用水の関連ため池であり、集水面積 11.1ha、かんがい受益面積 5.7ha の農業用ため池として地域農業の重要な役割を担っている。本ため池は平成 6 年度から平成 8 年度にかけて、ため池等整備事業（地域ぐるみため池再編総合整備事業）東境地区により、堤体、洪水吐、取水施設が改修された。しかし、本ため池の現況堤体の耐震点検を実施した結果、地震時の安定性が不足していることが確認された。また、洪水吐施設においては、豪雨時の放流能力が不足し、取水施設においては地震時の緊急放流能力不足が確認された。

よって、本事業において、堤体の耐震性の向上及び洪水吐の放流能力の向上を目的とした堤体の補強、緊急放流施設の新設、洪水吐の改修を実施する。このことにより、地震時及び洪水時にため池が決壊した場合の農作物、農業用施設、住宅等への被害を未然に防止し、農業経営の安定を図るとともに国土の保全に資することを目的とする。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第 1 表)

事業名	地 域
防災ダム事業	刈谷市

第 2 節 地 積

(令和3年 7月 現在)

令和7年 9月 現在 (第 2 表)

事業名	現況地目	田 ha	畑 ha	原野 ha	山林 ha	その他 ha	計 ha	備 考
	市町村名							
防災ダム事業	刈谷市	5.0	0.7	—	—	—	5.7	刈谷市「ため池台帳」を基に、地図（地形図 1/500）の図上計測面積。
計		5.0	0.7	—	—	—	5.7	

第3章 現況

第1節 気象

1 一般気象

変更後

(第3表-1-1)

観測所名	東海→大府観測所	かんがい期	4月～9月	非かんがい期	10月～3月	計または平均	備考
観測期間	H3～R2(2020年)						
平均気温		22.8℃		9.9℃		16.4℃	
降水量	平均(mm)	971mm		530mm		1,501mm	
	基準年(mm)	—		—		—	
降水日数	平均(日)	61日		43日		104日	
	基準年(日)	—		—		—	
根雪期間		観測なし					
無霜期間		観測なし					
最多風向		北西		最大風速 (風向き)		18.0 m/s (南南東)	最多風向発生時期 通年 最大風速発生年月日 平成30年9月4日

変更前

(第3表-1-2)

観測所名	東海→大府観測所	かんがい期	5月～9月	非かんがい期	10月～4月	計または平均	備考
観測期間	S51～R2(2020年)						
平均気温		24.4℃		10.6℃		16.4℃	
降水量	平均(mm)	848mm		653mm		1,501mm	
	基準年(mm)	—		—		—	
降水日数	平均(日)	52日		52日		104日	
	基準年(日)	—		—		—	
根雪期間		観測なし					
無霜期間		観測なし					
最多風向		北西		最大風速 (風向き)		18.0 m/s (南南東)	最多風向発生時期 通年 最大風速発生年月日 平成30年9月4日

2 特殊気象

変更後

(第3表-2-1)

観測所名 東海→大府観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 S51年～R6年																
最大日雨量 (mm)	492mm	H12.9.11	1/703	243mm	S51.9.12	1/28	234mm	H3.9.19	1/24	194mm	H6.9.17	1/12	181mm	R4.7.12	1/10	
最大時間雨量 (mm)	114mm	H12.9.11	1/269	83.5mm	H21.10.8	1/48	69mm	H6.9.17	1/19	68mm	S62.9.25	1/18	59mm	H2.9.18	1/10	
最大4時間雨量 (mm)	269mm	H12.9.11	1/807	159mm	H3.9.19	1/40	149mm	H6.9.17	1/30	117mm	H2.9.18	1/11	109mm	H11.9.14 ※1	1/8	
最大連続雨量 (mm)	589mm	H12.9.11 ～9.12	1/195	465mm	S51.9.7～ 9.14	1/53	437mm	H2.9.13 ～9.20	1/39	347.5 mm	H29.10.13 ～10.23	1/14	328mm	S57.7.24 ～8.3	1/11	
最大連続干天日数 (日)	40日	S61.1.5～ 2.13	1/199	31日	H11.12.7～ H12.1.6	1/23	29日	H9.10.15 ～11.12	1/15	28日	R6.7.18～ 8.14	1/12	27日	R2.7.31～ 8.26 ※2	1/10	

※1 同4時間雨量 S51.9.12

※2 同連続干天日数 S51.12.30～S52.1.25、S58.11.25～12.21、H7.11.28～12.24

変更前

(第3表-2-2)

観測所名 東海→大府観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 S51年～R2年																
最大日雨量 (mm)	492mm	H12.9.11	1/702	243mm	S51.9.12	1/29	234mm	H3.9.19	1/25	194mm	H6.9.17	1/13	173mm	H11.9.14	1/9	
最大時間雨量 (mm)	114mm	H12.9.11	1/192	83.5mm	H21.10.8	1/41	69mm	H6.9.17	1/18	68mm	S62.9.25	1/17	59mm	H2.9.18	1/10	
最大4時間雨量 (mm)	269mm	H12.9.11	1/706	159mm	H3.9.19	1/38	149mm	H6.9.17	1/28	117mm	H2.9.18	1/10	109mm	H11.9.14	1/8	
最大連続雨量 (mm)	589mm	H12.9.11 ～9.12	1/157	465mm	S51.9.7～ 9.14	1/46	437mm	H2.9.13 ～9.20	1/35	347.5 mm	H29.10.13 ～10.23	1/13	328mm	S57.7.24 ～8.3	1/11	
最大連続干天日数 (日)	40日	S61.1.5～ 2.13	1/220	31日	H11.12.7～ H12.1.6	1/24	29日	H9.10.15 ～11.12	1/15	27日	R2.7.31～ 8.26	1/10	27日	H7.11.28 ～12.24	1/10	

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考	
		1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高		最低
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	小計						
防災ダム 事業	面積(ha)	5.0	—	—	—	—	5.0	0.7	—	—	—	—	—	—	0.7	6.9	3.9	
	比率(%)	100	—	—	—	—	100	100	—	—	—	—	—	—	100			
合計	面積(ha)	5.0	—	—	—	—	5.0	0.7	—	—	—	—	—	—	0.7	—	—	
	比率(%)	100	—	—	—	—	100	100	—	—	—	—	—	—	100			

(第4表-1-2)

項目 土壌統 (区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)		備 考
	土 壤 断 面								堆 積 様 式	母 材	事 業 名		
	色	腐植	礫 層	酸 化 沈 澱 物	土 性			泥 炭 層 黒 泥 層 及びグライ層			防 災 ダ ム 事 業	計	
					表 土	下 層 土							
				一 層	二 層	三 層							
高棚統	灰色	なし	なし	糸根状、膜状含	粘質～強粘質	粘質～強粘質	—	80cm以上にはなし	洪積	非固結水成岩	5.0	5.0	水田
西尾統	黄褐色	なし	なし	なし	壤～粘質	壤～強粘質	—	—	洪積	非固結水成岩	0.7	0.7	畑
計											5.7	5.7	

2 土地分類

該当なし

3 土地利用の状況

(令和3年 7月 現在)

令和7年 9月 現在 (第4表-3)

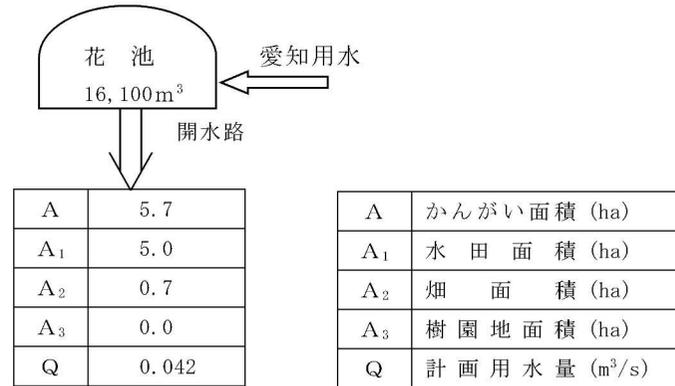
事業名	土地利用 別 市町村名	耕 地						原 野 (ha)	山 林 (ha)	採 草 放牧地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他の 樹 園 地 (ha)						
防災ダム 事業	刈谷市	5.0	0.7	—	—	—	—	—	—	—	5.7		
合 計		5.0	0.7	—	—	—	—	—	—	—	5.7		

第3節 水利状況

1 用水状況

本ため池の集水区域は、主にため池南部に広がる市街地区域であり、ここからの雨水排水の流入と愛知用水からの補給水により安定した用水供給がなされている。ほ場へは、本ため池に貯留された用水を開水路により配水している。

(1) 用水系統



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権		延べ取水量		備考
		500ha以上		500~100ha		100ha未満										
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	箇所	m³/s	
防災ダム事業	貯水池	—	—	—	—	1	5.7	1	5.7	—	—	—	—	1	0.042	
	井堰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	自然取水口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	揚水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	—	—	—	—	1	5.7	1	5.7	—	—	—	—	1	0.042	

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名							
防災ダム 事業	貯水池	花池	5.7	土堰堤 (前刃金型)	堤高: 2.6m 堤長: 225.2m	平成8年	地震時における堤体安定計算の結果、必要安全率1.2を下回り、安全性能が確保されていない。	堤体
				側水路型 (越流式)	幅8300mm	平成8年	豪雨時における放流能力不足。設計洪水量に対応した規模に改修を行う。	洪水吐
				緊急放流施設	未整備	—	既存取水施設の緊急放流能力不足が確認されたことから、緊急放流施設の新設を行う。	緊急放流施設
	井堰	—	—	—	—	—	—	—
	自然取水口	—	—	—	—	—	—	—
	揚水機	—	—	—	—	—	—	—
	用水路	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—
合計		1	5.7	—	—	—	—	

(3) 用水に関する被害状況

該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
防災ダム事業	9.0	2.0	5.5	16.5	(4,920) 4,842	—	(88,711) 65,778	—	(475,010) 534,533	(568,641) 605,153	
合計	9.0	2.0	5.5	16.5	(4,920) 4,842	—	(88,711) 65,778	—	(475,010) 534,533	(568,641) 605,153	

2 排水状況
該当なし

3 河川状況
該当なし

第4節 道路概況

本池の北側に一般県道富士松停車場線が東西方向に延びている。この幹線道路を中心に、受益地内に整備された市道及び農道が農作物の輸送道路及び日常の生活道路として兼用されている。

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

市町村名	項目	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱 供給水道業 (人)	情報通信業 (人)	運輸郵便業 (人)	飲食小売業 店 (人)	金融保険業 (人)	支教育・学 習業 (人)	医療・福祉 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
刈谷市		(77,217) 75,388	(855) 800	(1) 2	(2) -	(4) 3	(3,555) 3,175	(31,060) 29,874	(207) 219	(1,798) 1,747	(2,938) 3,022	(8,897) 8,710	(1,194) 1,159	(2,928) 3,064	(5,936) 6,689	(1,375) 1,378	(16,467) 15,546	
計		(77,217) 75,388	(855) 800	(1) 2	(2) -	(4) 3	(3,555) 3,175	(31,060) 29,874	(207) 219	(1,798) 1,747	(2,938) 3,022	(8,897) 8,710	(1,194) 1,159	(2,928) 3,064	(5,936) 6,689	(1,375) 1,378	(16,467) 15,546	
比率 (%)		100	1.1	0.0	(0.0) -	0.0	(4.6) 4.2	(40.2) 39.6	0.3	2.3	(3.8) 4.0	(11.5) 11.6	(1.6) 1.5	(3.8) 4.1	(7.7) 8.9	1.8	(21.3) 20.6	

(出典：第65次 東海農林水産統計年報)

出典：令和2年度国勢調査

2 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名	刈谷市	作付割合 (%)	備考
総耕地面積 (ha)	929		
区分 作物名	作付面積 (ha)		
水稲	525	69	作付面積は、経営耕地面積のうち販売目的作付け（栽培）した作物の類別作付（栽培）面積である。 「X」は秘密保護上、統計数値が公表されていないもの。
麦類	196	26	
雑穀	X	X	
いも類	X	X	
豆類	X	X	
工芸農作物	X	X	
野菜類	24	3	
果樹類	X	X	
花き類・花木	X	X	
その他作物	18	2	
計	763	100.0	

(出典：2020年農林業センサス)

3 農業の動向

(第7表-5-1)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			主 要 家 畜			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の 状 況 (C年を 100とす る指数)	農業経営 体数	80	54	耕地	110	104	水 稻	110	112	乳用牛	X	X	農振整備計画 刈谷市 昭和48年指定 昭和49年認可 野菜指定産地 刈谷市 昭和45年指定 秋冬だいこん 昭和41年指定 冬春きゅうり	A：令和2年 (2020年) B：平成27年 (2015年) C：平成22年 (2010年) 農林業センサス
	個人経営 体数	80	54	田	114	107	麦 (小麦)	127	124	肉用牛	X	X		
	団体経営 体(法人) 数	※ 166	※ 133	普通畑	86	99	野菜類	X	X	豚	X	X		
	団体経営 体(非法 人)数	50	50	樹園地	82	56	果樹類	X	X	採鶏卵	X	X		
				—	—	—	—	—	—	—	—	—		
変化の 理 由	市内には、自動車関連企業が多く立地しており、雇用機会に恵まれ、農家数、農業従事者数とも減少傾向である。団体経営(法人)については、ごく少数のため、微増となっている。			耕地、田については微増がみられるものの、市内の農地は都市部に隣接しており都市部を結ぶ幹線道路沿いは開発等への圧力が高く、住宅等への転用も多い。			農業の担い手が減る一方、販売を目的とした大規模農家や法人により、整備された大きな農地での営農の集約化が図られ、水稲、麦は増となった。			統計数値が公表されていないため、変化の把握ができない。				

(出典：2010年農林業センサス、2015年世界農林業センサス、2020年農林業センサス等)

※令和2年4件、平成27年5件、平成22年3件

X：秘密保護上、統計数値が公表されていないもの。

第6節 地域環境の概況

本地域は、刈谷市の北部丘陵地域に区分され、農地の保全、環境に配慮した環境保全型農業を推進している。

花池は、刈谷市田園環境整備マスタープラン(平成20年8月)によると、生態系の保全に配慮する環境配慮区域に位置付けられている。

① 特に配慮すべき生物環境

動物：タヌキ、コチドリ(鳥類)、ギンブナ(魚類)等

植物：カキツバタ等

② 景観に優れた地域の概要(特に配慮すべき生物以外のもの)

景観：小堤西池カキツバタ群落、洲原風致地区、亀城跡風致地区

その他：刈谷市郷土資料館、万燈祭り

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

花池は、刈谷市の北部に位置する愛知用水の関連ため池であり、集水面積11.1ha、かんがい受益面積5.7haの農業用ため池である。

本池は平成6年度から平成8年度にかけて、ため池等整備事業により、堤体、洪水吐、取水施設が改修されているが、本ため池の現況堤体の耐震点検を実施した結果、地震時の安定性が不足しており、堤体の決壊により農作物・農業施設及び住宅家屋等に多大な被害を及ぼす恐れがあることが確認された。また、洪水吐施設においては、豪雨時の放流能力が不足し、取水施設においては地震時の緊急放流能力不足が確認された。従って、耐震性向上及び洪水吐の放流能力の向上を目的とした堤体補強及び改修、緊急放流施設の新設、洪水吐の改修を行い、これらの災害を未然に防止し農業経営の安定を図る。

本事業は、上記を目的として以下の改修を行うものである。

堤体工：押さえ盛土工法により堤体の耐震性能を向上させる。

洪水吐工：豪雨対策として洪水吐の改修を行い、豪雨時の放流能力を確保する。

緊急放流工：緊急放流施設の新設を行い、地震直後の緊急放流機能を確保し堤体の安定性を確保する。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業目的	防災ダム事業						その他						合計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
農地防災	5.0	0.7	—	—	—	5.7	—	—	—	—	—	—	5.7	
計	5.0	0.7	—	—	—	5.7	—	—	—	—	—	—	5.7	

第2節 営農計画及び土地利用計画

該当なし

第3節 用水計画

該当なし

第4節 排水計画

該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画
該当なし

第7節 洪水調整計画
該当なし

第8節 干拓計画
該当なし

第9節 農用地整備計画
該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

1 洪水吐改修計画

(1)計画基準雨量 135.2mm/hr

(2)計画洪水量 4.044m³/s

2 堤体補強計画

堤体上流側：押え盛土（改良土）

3 緊急放流施設新設計画

（斜樋形式200×2連）

緊急放流 斜樋形式250×1連

4 法面保護計画

堤体上流側 張ブロック

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設
該当なし

第2節 排水施設
該当なし

第3節 道路及び索道
該当なし

第4節 農用地造成
該当なし

第5節 洪水調整施設
該当なし

第6節 干拓施設
該当なし

第7節 農用地整備施設
該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池

(第24表)

名称	花池				位置	刈谷市今川町地内			
	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)		堤体積 (m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (m ³)	備考
堤体	—	0.111	2.6	225.2	11,600	3.0	16,100	(216.8m) 堤体上流側：押え盛土 214.0m	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (堰長：m)	備考	取水施設	型式		取水量 (m ³ /s)	備考
	側水路型越流式 鉄筋コンクリート造	4.04	8.30	改修		取水孔 Φ150×1 2箇所 取水管 Φ150 底樋 Φ600	—	既設利用	
緊急放流施設	型式		放流量 (m ³ /s)	備考					
	(Φ200×2) 放流孔 Φ250×1 導水管 Φ300								

2 堤体補強施設

(1) 地震対策工

堤体上流側：押え盛土（改良土）による堤体強度向上

(2) 法面保護施設

堤体法面の形状に合わせて張ブロックを施す。（新設ブロック）

(3) 漏水防止工

該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手および完了の予定時期

1 工期

着手 令和4年度

(7)

完了予定 令和9年度(予定)

2 工事の年度割予定

変更前

年度 工種	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
地震対策工			■	■	
洪水吐工		■			
緊急放流施設工		■			
測量試験 (実施設計及びボーリング調査)	■	■	■	■	

変更後

年度 工種	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
地震対策工			■	■	■	■	
洪水吐工			■				
緊急放流施設工					■		
測量試験 (実施設計及びボーリング調査)	■	■	■	■	■	■	

第8章 環境との調和への配慮

1 配慮の対象

本地区は、愛知県のほぼ中央の刈谷市今川町に位置し、ため池の周辺は市街地ではあるが農地が多くある。

また、田園環境整備マスタープラン（平成20年8月版）においては、環境配慮区域となっており、豊かな自然環境を残した地域といえる。

2 配慮の方法

工事中においては、低騒音、低振動、低排出ガス対策型の作業機械を使用する。

工事中に発生する濁水は、池底部を利用した沈砂を行い濁水対策を図る。

ため池に生息する魚類等については、外来種を除き、落水後に近隣の池に移すなどして、影響を軽減する。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額および内訳

(第26表)

区分		事業名	防災ダム事業 (千円)	備考
事業費 ※1			(98,830) 258,900	
事務的経費 ※2			(6,935) 14,100	
計			(105,765) 273,000	
関連事業 (参考)				

(3)

(令和7年度単価で算定。消費税は10%で算定。ただし、物価変動により将来変動することがある。)

※1 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第 11 章 効 用

(第 2 7 表)

事業名	項目	年総効果(便益)額 (千円)	年総増加農業所得額 (千円)	備 考
	区 分			
防災ダム事業	維持管理費節減効果	(△52) △58	—	
	災害防止効果(農業関係資産)	(4,073) 3,072	(4,073) 3,072	
	災害防止効果(一般資産)	(20,663) 23,252	—	
	災害防止効果(公共資産)	—	—	
	計	(24,684) 26,266	(4,073) 3,072	令和6年度単価

	(84,484 千円)
① 当該事業費(現在価値化)	: 245,383 千円
	(59,249 千円)
② その他費用(現在価値化)	: 91,190 千円
※関連事業費+資産価額+再整備費	
	(143,733千円)
③ 総事業費	: 336,573千円
④ 年償還額	: — 千円/年
④' うち機能向上分	: — 千円/年
	(24,684千円)
⑤ 年総効果(便益)額	: 26,266千円
	(1,345千円)
⑥ 現況年総農業所得額	: 1,553千円
	(4,073千円)
⑦ 年総増加農業所得額	: 3,072千円
	(44 年(工事期間 4年))
評価期間(当該事業の工事期間+40年)	: 46 年(工事期間 6年)
割引率	: 0.04
	(418,242 千円)
⑧ 総便益額(現在価値化)	: 480,293 千円

(2.90)

⑨ 総費用便益比 (⑧÷③) : 1.42 ≧ 1.00

⑩ 総所得償還率 (④÷⑥) : - % ≧ 20%

⑪ 増加所得償還率 (④'÷⑦) : - % ≧ 40%

第 12 章 関連する事業

該当なし

第 13 章 現況・計画平面図

次頁添付のとおり